名古屋市立大学病院版　2024 年 2 月 16 日作成
2023 年 12 月 28 日作成 Ver.2

研究課題名「外来における抗菌薬の不適正処方に関する調査」に関する情報公開

１．研究の対象

本研究の対象者は、2016 年、2019 年、2022 年に名古屋大学医学部附属病院または既存試料・情報の提供のみを行う機関(研究方法欄を参照)を受診し、抗菌薬を処方された方です。

２．研究目的・方法・研究期間

研究目的：愛知県の病院において、外来患者さんの感染症の発症状況・抗微生物薬の使用状況を把握することで、感染症に関する医療の現状を把握し、愛知県全体での感染症診療・感染対策の質を向上することを目的としています。

研究方法：

2016 年、2019 年、2022 年に名古屋大学医学部附属病院または既存試料・情報の提供のみを行う機関(愛知医科大学病院、あいち小児保健医療総合センター、安城更生病院、稲沢厚生病院、一宮西病院、春日井市民病院、刈谷豊田総合病院、江南厚生病院、公立陶生病院、国立長寿医療研究センター、小牧市民病院、総合犬山中央病院、総合大雄会病院、総合上飯田第一病院、総合病院南生協病院、大同病院、知多厚生病院、中部労災病院、津島市民病院、常滑市民病院、トヨタ記念病院、豊田厚生病院、名古屋医療センター、名古屋掖済会病院、名古屋記念病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、名古屋市立大学病院、成田記念病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、半田市立半田病院、藤田医科大学ばんたね病院、名鉄病院、碧南市民病院)を受診し、抗菌薬を処方された全患者さんを対象とし、一定数を無作為に抽出したうえで所定の調査用紙に沿って調査させていただきます。調査期間は、実施承認日から 2023 年 12 月 31 日までを予定しています。

既存試料・情報の提供のみを行う機関が研究主幹である名古屋大学医学部附属病院にデータを提供する場合は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、パスワード等でデータを保護した状態で行います。個人が特定できる情報の提供は行いません。提供されたデータと個人を連結する対照表は、既存試料・情報の提供のみを行う機関の情報管理責任者が鍵付き保管庫等で管理します。

研究期間：実施承認日 ～ （西暦） 2026 年 3 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、妊娠の有無、抗菌薬に対するアレルギーの有無、基礎疾患、受診日、処方された抗菌薬の種類、抗菌薬処方の目的、微生物学的検査、周術期の場合は手術内容、処方した診療科 等

４．結果の公開

本研究の結果を学会あるいは学術雑誌で公開させていただくことがあります。その際、個人を特定できる情報は一切公表されません。

５．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
名古屋市立大学病院 感染制御部 早川　智章
愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄１番地 Tel 052-851-5511

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学 教授 八木 哲也